

# プレーカー であそぼ

プレーカーは、遊び道具や工具をたくさん積んだ、「移動式遊び場」です。子どもたちにとって「遊び」は生きることそのもの。「遊び」は他人や社会との関係を学び、人として成長するために欠かせないものですが、被災地では、遊び場や機会の不足が深刻です。

日本冒険遊び場づくり協会は、焚き火やどろんこ遊びなど「子どもが“遊び”をつくる遊び場」=プレーパーク(冒険遊び場)の支援活動を被災三県で2011年から実施しています。



特定非営利活動法人  
日本冒険遊び場づくり協会



あそびたいや

宮城県北部～岩手県エリア

あそぶーぶー

宮城県エリア

あそぼっか～

福島県エリア



プレーカーの中には何が入ってるの？

「プレーキット」と呼ばれる、手作りの遊び道具がたくさん詰まっています。工作をしたり、絵の具で思いっきり絵を描いたり、ベーゴマや釘さしをしたり。子どもの「やってみたい！」気持ちや遊び場にあわせて、遊び方は自由自在！





出発しまーす！タクシーこっこだ〜



ロープと木があれば楽しい遊具がすぐできる！



ノコギリで丸太切り競争！どっちが早く切り終わるかな！？



工作大好き！トンカチもノコギリも上手に使えるよ。

プレーカーは遊びの出前。子どもたちが遊べるちょっとした空き地さえあれば、どこへでも”遊び”をお届けに伺います。プレーカーで子どもに遊んでほしい”と思われたら、是非、ご連絡・ご相談ください。

## どんなひとが乗っているの？

プレーカーには子どもがいきいきと遊ぶことのできる環境をつくる「プレーリーダー」が乗っています。子どもの興味や関心を引き出すよう、遊び場を整備。つねに変化する遊び場の状況に注意を払い、子どもに声をかけます。子どもといっしょに思いきり遊び、ときには、子どものよき相談相手になることもあります。ケガや思わぬトラブルにも対応します。大人は子どもの遊びを規制しがちになりますが、そんなときには子どもにかわって子どもの気持ちを伝えます。こうして、子どもののびのびとした成長を見守る輪を、地域に広げていきます。



あそぼっかー  
須永力(ふんちゃ)



あそびたいや  
神林俊一(カンペー)



あそぶーぶー  
廣川和紀(かずにい)

## ”プレーカー”は 日本ユニセフ協会の委託事業です

日本ユニセフ協会は、子どもたちの毎日が震災前よりも良いものになること「Build Back Better」をめざして、さまざまな支援活動を行っています。なかでも力をいれているのが、子どもたちが遊び、健やかに成長する環境を充実させる活動です。震災により遊び場を失った子どもたちに、遊ぶ場所＝子どもたちの居場所を提供するプレーカーの活動は、日本ユニセフ協会の委託事業として行われています。

自分の責任で自由にあそぶ！

## 冒険遊び場とは？

冒険遊び場は、子どもが「遊び」をつくる遊び場です。ここでは火を使ったり、地面に穴を掘ったり、木に登ったり、何かものを作ったり...。落ち葉やどろんごや自然の素材を使って、遊び場にあるスコップや金づちや大鍋を使って、自分のやってみたく思うことを実現していく遊び場です。さまざまな遊びが展開されていくので、変化しつづける遊び場ともいえます。禁止するのではなく、一緒に考えてやってみる。のびのびと思いきり遊べるこの遊び場は、子どもが生きる力を育むことを支えています。

## ペイントについて



1970年代から横浜を拠点に国内外で活躍するウォールペイント・アーティストのロコ・サトシさんがプレーカーをペイントしてくれました。横浜博覧会パビリオンやポップ・マーリー生誕50周年記念コンサート（舞台美術）、横浜市営バスのペイントなど幅広く活動されています。

## 連絡先



NPO法人日本冒険遊び場づくり協会 東北オフィス  
〒982-0011 宮城県仙台市太白区長町1-12-30  
10:00-17:00 火・土(祝日を除く)  
Tel: 022-397-8498/Fax: 022-397-8499  
E-mail: tohoku@bouken-asobiba.org  
HP: <http://ipa-japan.org/asobiba/>